番号	名前		特記事項	今の活動(お店、会社名)
(1)	懐かし屋		忍城下ぎょうだ『懐かし屋』～なんでもコレクター栗原喜文コレクションの世界～	昭和レトロ♪忍城下ぎょうだ懐かし屋
		行田市商工センター/セブンイレブンと北谷通りの間にある、昭和のレトロを感じるお店『懐かし屋』。コカ・コーラグッズほか年代物のアンティーク品も多数。お店のご主人は「なんでもコレクター」らしく幅広い年代のアイテムがそろっています。とにかくコレクション数が多く、こちらにあるのはほんの一部。物を入れ替えながら今後も増やしていくそうです。テーマを変えた企画展も1か月ごとに開催するそうです。		
		https://ameblo.jp/tokiimochan2/entry-		

番号	名前		特記事項	今の活動(お店、会社名)
(2)	日和café（ひよりカフェ）		足袋とくらしの博物館)の前にある、街の古い民家を可愛らしく改装したCafé。	日和café
		行田の足袋で知られた『牧野本店(足袋とくらしの博物館)』の前にある、街の古い民家を可愛らしく改装したCafé。中のインテリア、落ち着いた雰囲気、満々。そうなんです、「前方後円墳」の形のライスも。これぞ行田の名物だとさ。一度覗いてみましょう。		
		http://ameblo.jp/hiyori2-12/ https://gratefuldays.bean-jam.jp/archives/2451		

番号	名前		特記事項	今の活動(お店、会社名)
(3)	蔵小屋族		**NEW**	
		若い人でも、小屋暮らしを始める人が増えているそう。小屋族というそうですね。世界的にもブームなんだとか。いくら頑張って長時間働いても、一向に暮らしが楽になりそうもない時代、いっそ出費を減らせば、その分無理して稼がなくて良いし、その方がある意味、余裕のある暮らしができるんじゃない？色々たくさん持たなくても、十分良い暮らしはできる。そんな風に考える人が増えているようです。 一方で、定年後に暇をもてあますようになったら、小屋を建てて自分だけの空間を持つのは、楽しそうです。		
		http://roukatu.hatenadiary.jp/entry/2017/09/21/21300 http://suumo.jp/journal/2016/01/18/104351/?awasete		

番号	名前		特記事項	今の活動(お店、会社名)
(4)	フライとゼリーフライ		昭和初期の行田で全盛期を迎えた足袋工場で働く女工さんのおやつ	行田名物『ゼリーフライ』
		戦前農家で手軽に作られていたフライは、腹持ちが良いこともあって、昭和初期の行田で全盛期を迎えた足袋工場で働く女工さんのおやつとして人気がありました。その名の由来には、行田周辺が布の産地だったことから「布来（ふらい）」になったという説があります。そのほかにも、フライパンで焼くからフライ、「富よ来い」に引っかけてフライになったなど、いろいろな説があります。この家庭料理がいつから店で売られるようになったのかは、確かな記録はありませんが、大正時代末頃、タバコを売りながらフライを売っている店があったそうです。現在、市内には３０店ほどのフライ屋が点在しており、１枚３００円位で食べられます。		
	行田市観光ガイド	http://www.gyoda-kankoukyoukai.jp/furai.html		

番号	名前		特記事項	今の活動(お店、会社名)
(5)	奈良漬		足袋商店の店先に漬物桶が持ち込まれ、そこで漬けて持ち出されていました。	飯田屋の『奈良漬』
		明治初期の行田市近郊の農家においては、白瓜が大量に生産されておりました。その白瓜をおいしい漬物にしようと酒粕に漬けたものが大変評判となり、今日の行田の奈良漬となりました。飯田屋の奈良漬は、選別された国内産の良い原料を良質な酒粕と味醂（みりん）粕を、ふんだんに使い職人が丹念に仕込みをした創作漬物です。自然の素材を大切にした味の逸品です。合成(着色料・保存料・甘味料)は一切使用しておりませんので安心してお召し上がりいただけます。毎日の食卓に…季節のご挨拶や贈り物に…ご賞味あれ。奈良漬けは足袋商店が得意先への贈答品として愛用されていました。足袋産業の全盛期には、足袋商店の店先に漬物桶が持ち込まれ、そこで漬けて持ち出されていました。奈良漬け		

番号	名前		特記事項	今の活動(お店、会社名)
(6)	行田古代米カレー		「さきたま古墳・行田古代米カレーの会」という組織を平成２７年６月に作りまし	行田古代米カレー
	 	「さきたま古墳・行田古代米カレー」のこと知っていますか？もう食べましたか？何店舗か制覇しましたか？かわいいですよね。全15店舗です。古墳の形の古代米ごはんと行田の食材を使うことだけ一緒、あとは各店舗全く違う味の自慢のカレーで味を競います。どのお店も美味しい、世界に一つのオリジナルカレーです。行田の楽しい新しい町おこしなんです。ご飯の型はものつくり大学で作ってもらいました。お店ごとに飾りつけも、付け合わせも、トッピングももちろん味もみんな違います。		
		http://kodaimai.net/		

番号	名前		特記事項	今の活動(お店、会社名)
[1]	忍町アートギラリー 2017		忍町＝日本遺産にもなっている行田の中心商店街にたくさんのアート作品を展示。	まちのイベント
		アートと歴史の忍町をのんびり散策。それぞれの展示場所に置いてあるスタンプを５個以上集めた方に、もれなく粗品を贈呈します。ぜひたくさんまわってスタンプを集めてください。日時　2017.10.10-11.15　場所　行田中心街、牧亭舎(手作り雑貨、アクセサリーの販売、忍町手作り市)　主催　忍町アートギャラリー　主催忍町アート化作戦実行委員会		
		https://www.facebook.com/oshimachiartgallery/		

番号	文化財の名前		特記事項	今の活動(お店、会社名)
[2]	蔵のまち行田　歴史めぐりツアー		大堰観光主催の日帰りツアー	歴史めぐり
		今年の4月28日、行田市の「和装分化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田」のストーリーが日本遺産に認定されました。これを記念しまして、大堰観光主催の日帰りツアーを紹介いたします。実施日は7月、8月の中で計12回。お申込みは出発日の2日前までOKです！また、地元の観光ボランティアガイドが終日同行で、昼食・入館料込み（古代蓮会館の入館料を除く）でお一人様3,800円です。行田の観光名所を巡り、歴史に触れてみてはいかがでしょうか		
		http://www.gyoda-		

番号	名前		特記事項	今の活動(お店、会社名)
[3]	足袋蔵ネットワーク		平成１６年にスタートした、NPO集団	NPO法人ぎょうだ足袋蔵ネットワーク
		平成16年(2004)に行田商工会議所のバックアップを受けて『NPO法人行田足袋蔵ネットワーク』が設立され、足袋蔵などの遊休化した近代遺産を歴史的な価値を生かしながら再生化しようと活動を始めました。具体的には、「蔵めぐりスタンプラリー（蔵めぐりまちあるき）」などのイベントを開催するとともに、『忠次郎蔵』、『足袋とくらしの博物館』、『牧禎舎』を相次いでオープンさせました。さらに『忠次郎蔵』、『武蔵野銀行行田支店』、『高澤家』、『十万石行田本店』、『彩々亭』、『大澤蔵』の国登録有形文化財への登録を推ん進するなどの活動を行いました。そうした動きと呼応するように『足袋蔵ギャラリー門』、『Café閑居』、『玉翠堂』、『はす蔵』などか次々に開業して、足袋蔵再生の機運が盛り上がりました。今後こうした動きが加速して、まちの活性化に繋がることが期待されます。		
	NPO法人ぎょうだ足袋蔵ネット 彩の国情報サイト彩都.biz	http://www.tabigura.net/ http://www.1saito.biz/area_ka/ghouda/tabikura.php		

番号	名前		特記事項	今の活動(お店、会社名)
	蔵めぐりまちあるき 2015		まちあるきに参加している方たちがたくさん☆スタンプは8個。新町ほっとステーションから。	まちあるきイベント
[4]		蔵めぐりまちあるき2015☆今津蔵･新町ほっとステーションから。2015年06月17日 あらまちアーケード沿いの今津蔵(今津印刷所) ○外観見学 ○足袋蔵まちづくりミュージアム ○奥貫蔵(あんど)･武蔵野銀行 ○牧禎舎 ○足袋とくらしの博物館 ○ボンネットバス ○大澤蔵･足袋蔵ギャラリー門 ○今津蔵･新町ほっとステーション ○忠次郎蔵･サカタメガネ ○十万石･翠玉堂･保泉蔵･とみた宝飾 ○小川源右衛門蔵･旧忍町信用組合･長井写真館 ○イサミ工場･ゴール		
		https://ameblo.jp/daisuki-gyoda/entry-		

番号	名前		特記事項	今の活動(お店、会社名)
	新町ホットステーション		蔵めぐりまちあるき2015☆今津蔵･新町ほっとステーション	
[4]		蔵めぐりまちあるき2015☆今津蔵･新町ほっとステーション 2015年06月17日 あらまちアーケード沿いの今津蔵(今津印刷所)○外観見学 ○足袋蔵まちづくりミュージアム ○奥貫蔵(あんど)･武蔵野銀行 ○牧禎舎 ○足袋とくらしの博物館 ○ボンネットバス ○大澤蔵･足袋蔵ギャラリー門 ○今津蔵･新町ほっとステーション ○忠次郎蔵･サカタメガネ ○十万石･翠玉堂･保泉蔵･とみた宝飾 ○小川源右衛門蔵･旧忍町信用組合･長井写真館 ○イサミ工場･ゴール ○金土本山		

番号	名前		特記事項	今の活動(お店、会社名)
	『古代蓮の里』		行田市指定天然記念物　行田蓮（古代蓮）	『古代蓮の里』
		古代蓮の里にほど近い公共施設建設工事の際に、偶然出土した種子が自然発芽し甦り、池に開花しているのが発見されました。 地中深く眠っていた多くの蓮の実が出土し、自然発芽して一斉に開花した事は極めて珍しいことといわれています。 古代蓮の里では、自生地から移植した古代蓮を育てており、可憐な古えの花をお楽しみいただいております。		
		https://www.ikiiki-zaidan.or.jp/kodaihasu/		

番号	名前		特記事項	今の活動(お店、会社名)
[6]	田んぼアート		「田んぼアート」in行田祝10周年！今年も行田の水田に世界最大の田んぼアートが出現します	アートイベント
		田んぼアートは水田をキャンバスとして、色彩の異なる複数の稲を植え付け、文字や図柄等を表現する取組です。2015年「最大の田んぼアート」としてギネス世界記録TM（公式認定記録：27,195平方メートル）に認定されました。田んぼアート南会場の絵柄が浮かび上がりました。「田んぼアート」in行田　今年は、１０周年を記念して特別に２会場で実施しております！行田市が舞台となる池井戸潤さんの小説「陸王」がTBSの１０月期「日曜劇場」枠にてドラマ化決定！！単行本「陸王」の書影を模したデザインと、主演・役所広司さんの似顔絵をおよそ10,000㎡(1.0ha)の田んぼに描きました。 尚、１０月１４日（土）に予定しておりました「田んぼアート稲刈り体験」については、前日から当日にかけて悪天候が予想されるため「中止」とさせていただきます。		
		https://www.city.gyoda.lg.jp/15/05/10/tanbo27/images		

番号	名前		特記事項	今の活動(お店、会社名)
	行田市郷土博物館		かつての忍城（おしじょう）本丸跡地に昭和63年(1988)2月にオープンしました。	行田市郷土博物館
		行田市郷土博物館は、かつての忍城（おしじょう）本丸跡地に昭和63年(1988)2月にオープンしました。博物館の周辺は忍城址公園として整備され、四季折々の自然に囲まれた憩いの場になっています。館内には古代から現代まで、実物資料を数多く展示して皆様のご来館をお待ちしています。		
	行田市教育委員会	https://www.city.gyoda.lg.jp/kyoiku/iinkai/sisetu/hakub		

番号	名前		特記事項	今の活動(お店、会社名)
[8]	忍城おもてなし甲冑隊		戦国時代の勇猛果敢な武将達をモデルの案内隊。歴史に親しんでいただきます。	観光案内・イベント
		行田市はこの地を訪れる観光客の皆様がよりいっそう歴史に親しんでいただけるよう、戦国時代に秀吉軍と対峙した成田家の勇猛果敢な武将達をモデルに「忍城おもてなし甲冑隊」を結成致しました。主な活動内容として、忍城址（おしじょうし）・郷土博物館を中心に市内各所で観光客との記念撮影、勇壮な演舞パフォーマンスの披露などを行っています。また、埼玉県内外で行われる観光PRイベントへの出演なども予定しています。		
		http://www.oshijo-omotenashi.com/		

番号	名前		特記事項	今の活動(お店、会社名)
	埼玉県さいたま史跡の博物館			埼玉県さいたま史跡の博物館
[9]		県名発祥の地、行田市埼玉（さきたま）に国指定史跡「埼玉（さきたま）古墳群」があります。ここは、延喜式内社前玉（えんぎしきないしゃさきたま）神社のほか、天正１８年の忍城（おしじょう）水攻めの遺構である石田堤（いしだつつみ）、忍藩主松平家の菩提寺の天祥寺（てんしょうじ）などがあり、豊かな史跡に恵まれています。埼玉県では、この古墳群を中心に、広い区域を確保し、その環境を整備して古墳群のよりよい保存と一層の活用を図るため「さきたま風土記の丘」を建設しました。その建設の一環として「さきたま資料館」を昭和４４年に設置しました。さきたま講座 まが玉づくり体験 古代米くらぶ 古墳群ガイドツアー		
	埼玉県さいたま史跡の博	http://www.sakitama-muse.spec.ed.jp/		

番号	名前		特記事項	今の活動(お店、会社名)
	行田市観光ガイド		行田市観光協会からの観光のご紹介(お知らせ)	行政
[10]		日曜劇場『陸王』10月22日のエキストラ募集について2017年10月16日 14:00ＴＢＳテレビ日曜劇場『陸王』の撮影が次のとおり行われますので、ぜひご参加くだ…「ぶらっと♪ぎょうだ」にて「陸王」グッズ販売中です！2017年10月16日 08:3510月15日（日）から放送がスタートした、ＴＢSテレビ日曜劇場「陸王」。その…TBS日曜劇場「陸王」撮影（10月14日）の延期について2017年10月13日 14:50明日、10月１４日（土）予定されておりました、		
		http://www.gyoda-kankoukyoukai.jp/		

番号	名前		特記事項	今の活動(お店、会社名)
	足袋蔵パン工房 rye（ライ）		大正5年建てられた奥貫忠吉商店の足袋蔵の一つにパン工房	足袋蔵パン工房 rye（ライ）
[11]		大正5年建てられた奥貫忠吉商店の足袋蔵の一つにパン工房を発見。愛称は『rye（ライ）』。ちょっとおしゃれで、古風なパン屋さん。大人気のお店で、閉店時間前に売り切れることもあるそうな。 足袋蔵パン工房ryeは行田市で平成24年に行田の足袋蔵でオープンし、4年間の営業の後皆様に惜しまれつつ、Ｕターンで、徳島に移店！！したようだ。残念。この蔵、その他、絵画展、コンサート等を開くなど大いに活躍してほしい。		
		http://j.gmobb.jp/pankoubou-rye/ https://gratefuldays.bean-jam.jp/archives/7855		

番号	名前		特記事項	今の活動(お店、会社名)
[12]	まちゼミ		行田商工会議所からの活動のご案内	行田商工会議所

7月14日第11回「まちゼミ」の開催について　『GYOUDA TABI JAPAN』
第一回　忍城下の名所を巡ろう。2017.9.2-10.1
第二回　忍城おもてなし甲冑隊と行きまする。2017.10.7 『2017スタンプラリーin行田』 発見! 体験!埼玉スタンプラリー2017
7月14日（金曜日）から30年1月15日（月曜日）県内の工場や観光施設を巡って、埼玉の魅力を発見&体験！今年度はスタンプスポットが130カ所！知って・学んで・楽しんで、子供も大人も、みんなでキラッキラの笑顔になろう！

http://www.pref.saitama.lg.jp/a0301/sainokuni/sainoku
http://www.gyoda-cci.or.jp/

番号	名前		特記事項	今の活動(お店、会社名)
[13]	ポケットブックまいたま		埼玉県スマホアプリ	SNS

埼玉県は平成28年1月15日（金曜日）に、埼玉県スマホアプリ「ポケットブックまいたま」をリリースしました。「毎日の埼玉県の情報をあなたのポケットに」をコンセプトとして、日々の暮らしに役立つ情報や非常時の緊急情報等を提供します。ぜひご利用ください。

http://www.pref.saitama.lg.jp/a0301/maitama/index.htm

番号	名前		特記事項	今の活動(お店、会社名)
[14]	行田足袋		11月23日行田足袋コレ2017公開　主催者: 行田足袋	足袋コンテスト

昨年までベスト足袋ニストコンテストとして行われたイベントは、今年から足袋コレと同一のコンテストとして生まれ変わりました。「これこそ足袋」というこだわりを持った方や「こんなアレンジもあるのでは」という"新たな足袋"を提案したい方など、足袋"愛"あふれる方々のお申込みをお待ちしております。

http://www.gyoda-tabi.com/
https://www.facebook.com/besttabinist/

番号	名前		特記事項	今の活動(お店、会社名)
[15]	陸王		ついに一昨日の日曜日にTBSにてドラマ「陸王」第一話が放送されました！2017.10.15	書籍・TV
		埼玉県行田市にある老舗足袋業者「こはぜ屋」。日々、資金繰りに頭を抱える四代目社長の宮沢紘一は、会社存続のためにある新規事業を思い立つ。これまで培った足袋製造の技術を生かして、“裸足感覚”を追求したランニングシューズの開発はできないだろうか？世界的スポーツブランドとの熾烈な競争、資金難、素材探し、開発力不足——。従業員20名の地方零細企業が、伝統と情熱、そして仲間との強い結びつきで一世一代の大勝負に打って出る！		
		http://www.tbs.co.jp/rikuou_tbs/ http://blog.livedoor.jp/tabigura		

番号	名前		特記事項	今の活動(お店、会社名)
[16]	行田市教育委員会		行田市の足袋蔵等が日本遺産に認定されました	行政
		5月20日、21日の2日間に行われた「第13回ぎょうだ蔵めぐりまちあるき」で日本遺産のPRを行いました。「ぎょうだ蔵めぐりまちあるき」は、NPO法人ぎょうだ足袋蔵ネットワークが毎年開催しているイベントで、スタンプラリーをしながら日本遺産の構成文化財である足袋蔵等を巡り、参加者に楽しんでいただくイベントです。今年は日本遺産認定もあり、例年よりも多くの方に参加していただいたようです。 教育文化センター「みらい」は、市民の皆さんの生涯学習活動の拠点施設です。「みらい」は、延べ床面積約5,951平方メートルで、この施設の中には、501席のホール、中央公民館、図書館、視聴覚ライブラリー、そして教育研修センターが入っています。		
	行田市教育委員 ぎょうだ蔵めぐりま	https://www.city.gyoda.lg.jp/kyoiku/shisetsu/index.html https://www.city.gyoda.lg.jp/41/03/10/japan_heritage/k		

番号	名前		特記事項	今の活動(お店、会社名)
[17]	中川の碑		行田市の長野地区にさきたま調整池（旧忍川）沿いに「中川の碑」があります。	「中川の碑」-中川と元荒川
		元荒川ってどんな川？　熊谷市の佐谷田地先を起点として、越谷市の中島地先で中川に合流する延長約六十一キロメートル、流域面積二百十六Ｋ平米の、山岳部からの源流のない川だよ。元荒川の歴史と埼玉県東部の水田地帯を流れる中川流域の特徴が記述され、上部にはかわいらしい河童の石像が案内してくれます。		
		https://www.city.gyoda.lg.jp/11/05/10/sihou/2013/doc		

番号	名前		特記事項	今の活動(お店、会社名)
[10]	行田の観光案内所		行田市の観光案内所・４拠点	施設
		■『行田市観光案内所』JR行田駅東口を降りたところの行田市観光案内所。行田市の観光情報、公共施設や宿泊施設などをご案内するとともに、観光レンタサイクルの貸出や観光ボランティアガイドの受付します。■『行田市バスターミナル観光案内所』観光名所やご当地グルメのパンフレットを置くとともに、常駐のスタッフがきめ細かに観光案内を行っています。また、ポタリングを安心して楽しめるように、レンタサイクルの貸出もしている。■『観光情報館 ぷらっと♪ぎょうだ』行田市商工センター1階のでは、行田市の観光情報、公共施設や宿泊施設等のご案内のほか、市内特産品の販売や紹介もしております。■「足袋作りミュージアム」において、観光情報の提供や特産品の紹介、あつせんを行っております。		
	観光情報館 ぷらっと♪ぎょうだ 観光ガイドステーション	http://www.gyoda- http://www.city.gyoda.lg.jp/15/04/12/map/tabi_to_kura		

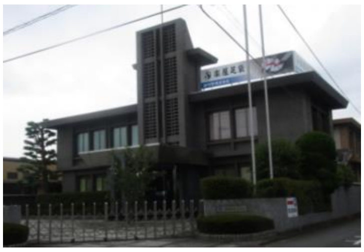
番号	名前		特記事項	今の活動(お店、会社名)
[10]	行田市観光		行田市の観光	行政
		1949年5月3日に行田市が誕生しました。行田市が埼玉県名発祥の地となった歴史などを紹介します。■なから旨い!!グルメを味わう。行田市民が大好物のフライ・ゼリーフライなどを紹介します。街のあちこちでいろんな味を楽しもう！ ■みんなでにぎわう!祭りで楽しむ。行田の歴史と伝統ある祭りや、市民が中心となり盛り上がる市民祭りまで、にぎわいある魅力的な祭りを紹介します。■ロマン感じる 名所に行く。行田の街を歩けば魅力ある名所に出会えます。名所をめぐり、今につながる歴史を体感しよう。		
		http://www.city.gyoda.lg.jp/kanko/		

番号	名前		特記事項	今の活動(お店、会社名)
①	きねや足袋	平成企業	小説及び2017年10月15日放映開始のドラマ「陸王」に登場する足袋シューズは弊社きねや…	きねや足袋株式会社
		創業当時から「ミシン、道具、人」にやさしい行田足袋づくりをこころがけております。耐久性、シルエット、縫い上がりを追求し足を包み込む「ふっくら」とした特徴があります。メッセージきねや足袋の３代目中澤貴之です。先々代から受け継がれてきた伝統の技を受け継ぎ、着物の脇役としてだけではなく他の分野においても足袋が役に立てられる事を願っております。また日本だけでなく海外の方たちにも足袋を知っていただけるよう精進いたします。		
	きねや無敵 きねや足袋	http://kineyatabi.co.jp/kineya/?page_id=1896 http://kineyatabi.co.jp/kineya/		

番号	名前		特記事項	今の活動(お店、会社名)
②	後藤足袋	足袋屋	通常の白足袋に加え、受注生産の異彩を放つデザインの柄足袋。この道40年の足袋屋	後藤足袋有限会社
		で、この道40年の社長後の藤安男さん。まさにベテランといった風格。我々にとって、初めて見るような機械を器用に使いこなし、それぞれの工程で作業に没頭している。機械はドイツ製のものだそうだ。工場は後藤社長のお父さん、お兄さんと続いてきて、約70年の歴史があるとのこと。ポップ足袋は受注生産の特注品のためひときわ異彩を放つデザインの柄足袋だが、実に手際よく完成されていく。		
	livedoor.Blog 後藤足袋	http://blog.livedoor.jp/tetsubo8/archives/65753898.ht http://hifu-koworks.lolipop.jp/%E8%B6%B3%E8%A2%8B/		

番号	名前		特記事項	今の活動(お店、会社名)
③	創作足袋	足袋屋	創作足袋の千代の松。奥さんは彩の国、埼玉県伝統工芸師	創作足袋
		一般に流通したのは白足袋や黒足袋が主流でしたが、高級品として別珍やコールーテン生地の足袋も生産販売されていました。近年、外反母趾や足指の健康問題から下駄の効用も見直しされているようですが、若もののファッションでもトンボやさくら、麻の葉、なるとなど、柄足袋の着用が見られます。日本古来の伝統文化である足袋生産が衰退から再生は、行田市でなければ果たせない事業と考え創作足袋（柄足袋）の製造販売を始めました。足袋産業に携わる技能者・後継者に恵まれず技能が埋没、消滅していくのは惜しまざるを得ません。この創作足袋が産業再生の一石になることを願っております。		
	創作足袋	http://www.plus-kun.com/totsuka/		

番号	名前		特記事項	今の活動(お店、会社名)
④	青柳スクールメイト	店舗住宅・土蔵	短冊形の細長い土地に1列に並んだ、店舗、庭、倉庫。当地独特のスタイルです。	青柳スクールメイト(株)
		行田国道125号線に面して店舗兼住宅と土蔵。漆喰壁の店蔵と塀は赤煉瓦を使ったイギリス積み。塀の奥には土蔵（足袋蔵）が見える。これらは、短冊形の細長い土地に1列に並んだ、店舗、庭、倉庫。当地独特のスタイルです。しかし、残念ながら道路拡張のために切り取られ、表通りからは見つけにくい。行田市の地場産業だった足袋製造のメッカであったようだ。		
		https://www.ekiten.jp/shop_5566782/		

<table>
<tr><td>番号</td><td>名前</td><td></td><td>特記事項</td><td>今の活動(お店、会社名)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">⑤</td><td>ガクヤ</td><td>平成企業</td><td>国産へのこだわり、行田の老舗足袋メーカー直販サイト</td><td>株式会社ガクヤ</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">伝統とコア事業を大切にしながら、新事業分野へ挑戦しています。 たとえば不動産資産をアセットマネジメント分野として活用し事業化しています。行田工場跡地を行田天然温泉「古代蓮物語」として活用するなど、また高齢化社会が本格化していくにつれ、公的な支援だけでなく、民間による福祉サービスが注目されています。訪問介護、デイサービス、リハビリ支援施設など、高齢化社会を支える民間サービスの充実新しい高齢化社会対応事業として、行田天然温泉と同様にデイサービスセンター「まきばの温泉」として活用しています。</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3">http://www.gakuya.co.jp/</td></tr>
<tr><td>番号</td><td>名前</td><td></td><td>特記事項</td><td>今の活動(お店、会社名)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">⑥</td><td>イサミコーポレーション ●</td><td>平成企業</td><td>学校制服・体育衣料・企業ユニフォーム・足袋の企画、製作、販売</td><td>㈱イサミコーポレーション</td></tr>
<tr><td> </td><td colspan="3">創業以来100年間、時代の要求に対応しつつ発展を遂げ、創業110年を迎えることができました。そして迎える次の時代に向け、市場の変化に対応する会社作りを急ぎます。即ち、わが国の社会が成熟度を高める中で、顧客満足度を高めることこそが、会社の存亡を左右すると理解し、豊かさと信頼を感じて頂ける商品作り、サービスの向上を目指します。しかし、一方、鋭い感性を磨きつつ、社会に対し開かれた大人の企業文化を構築し、付加価値の高い会社を目指すことで、皆様のお役に立てるものと確信しています。</td></tr>
<tr><td></td><td>TVロケ
㈱イサミコーポレーション</td><td colspan="3">http://locatv.com/rikuou-location04/
http://www.isamicorp.co.jp/co_gaiyo.html</td></tr>
</table>